

Project NEWS

30th December 2022

適切な工事実施を目的とした
数量明細書（BoQ）作成の
ための研修を実施しました！



Project for Water Management and Capacity Building in Rwanda

March 2019 to February 2025 (6 years)

Collaboration between Rwanda Agriculture and Animal
Resources Development Board (RAB) and Japan International
Cooperation Agency (JICA)



Where is it?

ルワマガナ郡チャルホゴスキーム

WAMCABは、2022年12月28日～30日の3日間、プロジェクトのタスクフォースメンバー^{注1}及びフィールドコラボレーター^{注2}を対象に、数量明細書（BoQ）作成研修を実施しました。

本研修はWAMCABが目指す5つの成果のうち「3. モデル地区における維持管理が適正に行われる」に資するものです。BoQの内容・構成を理解し、自身で精査・準備できるようになることで組合資金の効率的及び適正な利用に繋がります。本研修を通して能力強化された参加者が将来的に講師役となり、水利組合に対して適切な工事実施計画の作成を支援することが可能になることを目指します。

3日間行われた本研修では、まず日本人専門家が基本的な説明を行い、その後演習としてチャルホゴスキームの実際の圃場で用水路の測量を行いました。演習は、プロジェクトの現地スタッフを中心に2グループに分かれて実施しましたが、経験のある研修参加者やいち早く方法を理解した参加者が他の参加者に教えあう姿が見られ、協力して課題をこなしました。

今後は、研修参加者が講師役となり、水利組合に技術が共有・移転されることが期待されます。

（注1）タスクフォース：中央レベルと地方政府機関との縦連携、組織間・部署間の横連携の強化を図っていくために設立された組織で、RAB（Rwanda Agriculture and Animal Resources Development Board, ルワンダ農業・動物資源開発庁）のステーション職員と郡庁職員で構成されている。

（注2）フィールドコラボレーター：プロジェクト終了後も水利組合に雇用されることを前提にした現場協力者。現在はプロジェクトと水利組合のコストシェアでの雇用。



Get more information about us!

Project Office:

Rwanda Agriculture and
Animal Resources
Development Board (RAB),
35 KG 7 Ave, Kigali, Rwanda

